

2019年5月17日

住友理工、こまき産業フェスタ 2019 に出展

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長：松井徹）は、パークアリーナ小牧（愛知県小牧市）で5月25日（土）、26日（日）に開催される「こまき産業フェスタ2019」に出展します。



昨年の当社ブースの様子

当社は1960年に小牧市内に製作所を開設し、1964年には本社を同市に移転して以降、小牧本社・製作所を事業運営の中核拠点とし、地域住民の皆さまにご理解、ご協力いただきながら、事業活動を進めてきました。本イベントは、地域住民の皆さまに同市を拠点とする企業である当社の製品や技術を改めて知っていただくとともに、日頃の感謝を伝える機会として、毎年出展しています。

今年も例年人気の2種類の液状ゴムを発泡させる小中学生向け実験教室を開催。その他にも、体圧分布やバランスを見える化する、当社独自のゴムセンサー「SR（スマートラバー）センサ」を応用した足圧バランス計を使った風船割りゲームや、画面表示に従って体を動かし、その動作の正確性が分かる「まねまねマット」を体験いただけます。

また地震から家を守る制震システム「TRCダンパー」、室内を快適に保つための窓用遮熱・

断熱フィルム「リフレッシュイン」の効果分かるデモンストレーションを出品します。

人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する当社ならではの技術や製品を体感していただける展示を用意しています。皆さまのご来場をお待ちしております。

<展示品紹介>

>> 発泡実験

2種類の液状ゴムを混ぜることで、ゴムが膨張し変形していく様子を観察できます。このような原理を利用した発泡素材は、自動車用内装品のヘッドレストやアームレスト、制遮音品のエンジンカバーなどに使われています。



昨年の実験教室の様子

>> 足圧バランス計（開発品）を使った風船割りゲーム

体圧分布やバランスを見える化できる当社独自のゴムセンサー「SRセンサ」を活用。足圧バランス計の上に乗る、前後左右に体重移動をさせることで画面上のキャラクターを動かすことができます。キャラクターを移動させて、出現する風船を割っていくゲームです。



風船割りゲーム

>> 運動センサー まねまねマット（開発品）

足圧バランス計にも使用されている、SRセンサを応用した開発品。マットの上で画面に表示される動作をまねると、カメラやセンサーからの情報をもとに動作や姿勢の正確さが一目で分かります。ヨガやピラティスなど、動作や姿勢の正確性が求められるトレーニングの質向上を目的に開発を進めています。

>> 制震システム「TRCダンパー」

地震時に家屋の損傷を低減する制震システムです。内蔵された特殊粘弾性ゴムが地震のエネルギーを熱エネルギーに瞬時に変換し、揺れを低減させます。TRCダンパーの設置あり・なしの揺れ方を比較できる家屋の模型や通常のゴムとTRCダンパーに使用しているゴムの性能の違いが分かるゴムボールを出品します。



>> 窓用遮熱・断熱フィルム「リフレッシュイン」

室内の明るさを保ったまま、夏は太陽からの熱を反射（遮熱）し、冬は室内の暖気を外へ逃がさない（断熱）、窓用のフィルムです。リフレッシュインを貼った場合と貼らない場合の遮熱効果が分かるデモンストレーションを展示します。



リフレッシュイン

<開催概要>

展示会名	こまき産業フェスタ 2019
会期	5月25日（土）、26日（日）両日とも 10：00～16：00
会場	パークアリーナ小牧（愛知県小牧市間々原新田 737 番地）
ブースエリア	メインアリーナ内 企業出展コーナー ブース番号 22

以上

----- 住友理工について -----

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車分野では、輪軸を駆動する世界トップシェアの耐摩ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、フレンタン製の輪軸部品・内輪品を製造、自動車部品の研究で培った技術を生かし、エレクトロニクス、インフラ、住環境・福祉介護の各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、世界中の人々に安全・安心・快適を提供する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail kouhou@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>